

終戦の日:その時わたしは・・・ エクアドル 田辺 正明



昭和19年3月、日本軍は3個師団を繰り出して、連合軍の反攻の中心地であるインド・マニプル州の州都インパール攻略作戦を開始した。前年から始まった連合軍の反攻を食い止め、中国・国民党政府への援助を遮断するためだった。いったんは、連合軍にとっての拠点まで進み、連合軍の補給ルートを遮断したかに見えたが、日本軍は前線への補給が続き、作戦は3か月あまりで失敗に終わった。そして、撤退路の多くで、将兵が飢えと病に倒れた。インパール作戦は当初から無謀な作戦であると反対意見が多かったにもかかわらず、強引に進められた。京都府出身者を中心に編成された第15師団は、昭和19年3月15日にチンドウィン川を越えて、直接インパールを目指し進軍を始めた。しかし、人力で運べる分しか武器、弾薬、食料を持たない15師団は、ここで、豊富な砲弾と機甲部隊を持つ英印軍の激しい反撃にあい、草を食みながら白兵戦を挑むしかなくなり、撤退を始めたが、雨季を迎えた密林の中で食糧のないまま撤退を始めた将兵たちは、病と飢えで次々に脱落、将兵の死体があふれたその撤退路は「白骨街道」とまで呼ばれるようになった。ビルマやインドで戦ったイギリス人将兵は、死ぬまで銃を離さず、捕虜にもならない日本軍の戦いぶりに背筋を凍らせた。イギリス人将兵にとってもインパールの戦闘は、猛スピードで進軍してくる日本の大軍を迎え撃つ困難な戦いだったという。ビルマで命を落とした日本軍将兵の数は16万人にもおよんだ。(資料: NHKアーカイブス) 1963年に南米エクアドルに移住して農業開拓に従事し、日本国政府から功労賞を受賞した田辺正明さんは前掲の「白骨街道」の生き残りの一人でした。HCJBスタジオでその体験を涙ながらに語った田辺さんは最後に声をふりしぼってこう訴えました。「戦争の悲惨というものはまさに地獄です。ああいうことは、絶対にやってはいけません！」



北支からの引揚者: 西榮ハルさん (ブラジルへ移住)
ビルマ戦線から撤退 (エクアドルへ移住)

ブラジル 西榮 ハル

わたしは、北支で日本軍指定の旅館の女将でした。主人は中国奥地に「百万の兵」を揚げる港を建設するための岸壁技術者として働いていました。終戦とともに引揚船に乗って日本へ帰りましたが、故郷の四国の宇和島市に着いた時は目を見張りました。市内はどこも真っ黒焦げになってしまっており、とりあえず知り合いの世話で私の田舎に帰りました。そのうち主人も無事復員してきて一緒に東京に出ましたが、地元の人たちは戦地や疎開先から家族が帰ってくるのでとどこも部屋を貸してくれないので、主人の知り合いのところでお世話になりながら配給の「お薯」で飢えをしのいでいました。焼け野が原では働く場所もなく、乗り物の窓にもガラスがなく食料は、ちよくは配給だけでは足りないので買い出しをしていました。列車の屋根の上では大きなリュック サッカー一杯に食料品を詰め込んだ人たちがひしめき合い、みんな手をつないでいるので、列車が揺れて一人でも落ちたらみんな数珠つなぎになって落ちてしまいそうで心配でした。そのうち主人の知り合いにすすめられて池袋駅前「中華そば屋」を出すようになり、夜の9時から朝の3時まで営業、よそが一杯50銭のところを40銭にしたところ大当たりし、見ず知らずのお客さんたちから「母ちゃん、頑張れや」といつも励まされていました。



終戦のニュースを知らされたのはラジオでしたが、軍人の宿泊先だったのでもうすず感じてはいましたが本当に泣きました。戦地に派遣される前にはそれぞれの家族に届けるものを用意してもらい、鹿児島から北海道まで送りとどけてあげました。戦争は恐ろしい! たくさんの人を犠牲にして・・・もう戦争なんてあってはいけませんね。本当に・・・

時は21世紀。遠い時空を経ても人は戦う性(サガ)を克服できないのでしょうか。どこまで繰り返すのか。ユートピア(桃源郷)は原義の意味する実在しない理想郷でしかないのか。取り合いやせめぎ合いに明け暮れる国際社会の力関係を「助け合い」には変えられないのか。「あなたがたは、まず第一に神の国と神の義も求めなさい」と聖書がすすめるように、上を向いて、創造主の愛に育まれている人の世を感謝し、お互いがその愛を实践する国づくりを目指すことはできないのでしょうか。

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
8月01日	折り紙の詩(3) キューバ訪問	8月02日	リスナーからの「お便り交換の時間」
8月08日	マリンバの調べ・希望のことば	8月09日	聖書遊覧バス(創世記・ハガルとイシマユエル)
8月15日	終戦体験: 田辺正明・西榮ハル	8月16日	聖書遊覧バス(創世記・アブラハム99歳)
8月22日	南米ふれあいの旅(ボリビア編)	8月23日	聖書遊覧バス(創世記・アブラハムの妻)
8月29日	サボテン日記(12)	8月30日	聖書遊覧バス(創世記・三人の旅人)

放送後の番組は、ホームページ(<http://reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間: 日本時間 午前7時半~8時 15410kHz (再放送) 午後8時~8時30分 15.565kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

*受信報告書をメールで送る場合: hcjbjapan.office@gmail.com

